

“新しい”資本主義と社会的共通資本

- ① 簡単な自己紹介
- ② “新しい”ガバナンス
 - ESG投資型 vs. パーパス経営型
- ③ “新しい”資本主義
 - イズムとしての資本主義
 - システムとしての資本主義
- ④ 社会的共通資本:再考



大阪大学経済学部教授
安田洋祐

E-mail: yosuke.yasuda@gmail.com

簡単な自己紹介

- 1980年 東京都生まれ
 - 2002年 東京大学経済学部卒業
 - 2007年 プリンストン大学Ph.D.
 - 2007年 政策研究大学院大学 助教授
 - 2014年 大阪大学経済学部 准教授
 - 2021年～22年 リスボン大学客員研究員
 - 2022年 大阪大学経済学部 教授
-
- 研究領域
 - ゲーム理論、マーケットデザイン
 - マスメディアを通じた情報発信や、**政府系委員**活動にも積極的に取り組んでいる

テレビ出演

- 関西テレビ「報道ランナー」
- フジテレビ「とくダネ！」
- 読売テレビ「ミヤネ屋」
- テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」
- Eテレ「オイコノミア」
- NHK総合「ニュースウェブ」
- NHK BS1「欲望の資本主義」シリーズ など多数

政府系委員会

- 環境省「カーボンプライシングの活用に関する小委員会」
- 経済産業省「GXリーグにおける排出量取引に関する学識有識者検討会」
- 総務省「情報通信経済研究会」「5GビジネスデザインWG」
- 内閣府「国家戦略特区ワーキンググループ」

“新しい” ガバナンス

今までの企業像

• 営利企業

- 目的: 利潤最大化
- 制約: 無し

→ 社会課題が解決できない

• 公的企業

- 目的: 社会価値最大化
- 制約: 無し

→ 持続可能性／効率性が低い

目的と制約が入れ替わっている！

新たな企業像

• <ESG投資>型

- 目的: 利潤最大化
- 制約: 一定の社会価値 v の実現

→ 注) v は自分たちで決められない(例: ESG投資)

• <パーパス経営>型

- 目的: 共通価値 v^* の最大化
- 制約: 一定の利潤の実現

→ 注) v^* は自分で決めることができる

旧来型の「営利企業」と
目的は同じ！
⇒ 受け入れやすい

これからの企業の課題

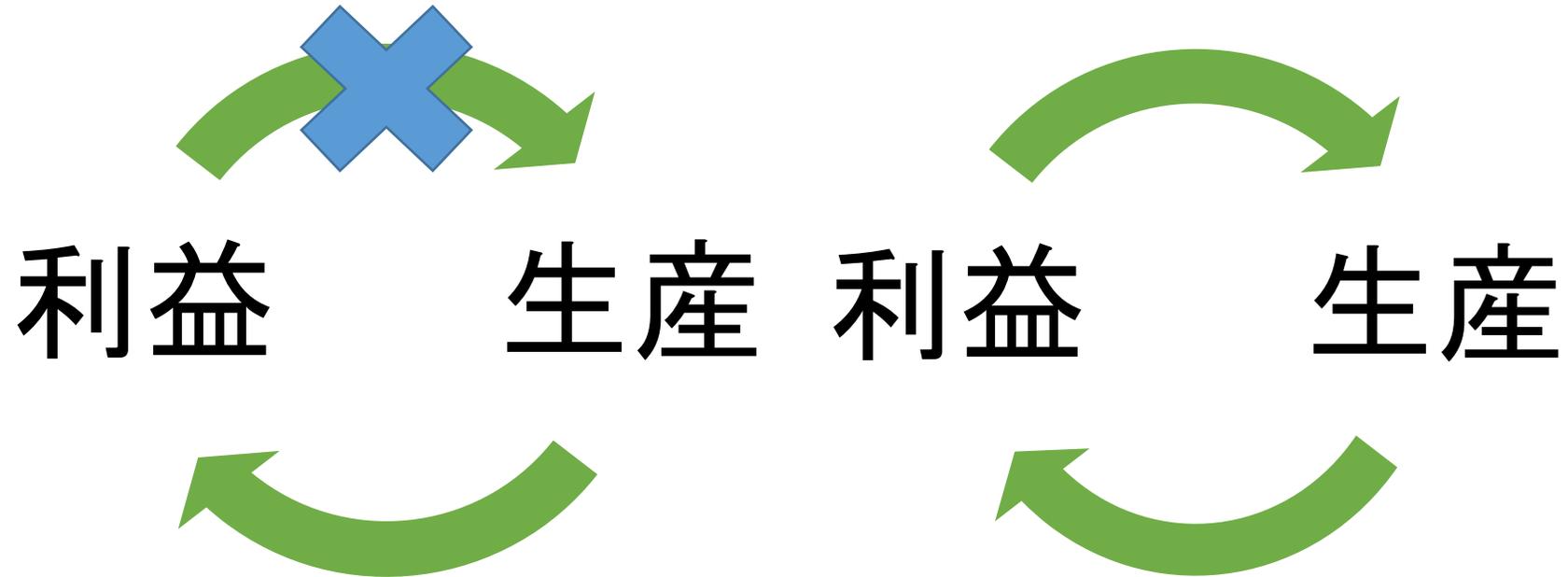
- <ESG投資>型の課題
 - 社会価値 v をどうやって決めるのか？
 - 制約条件をきちんと守らせることができるのか？
- <パーパス経営>型の課題
 - 儲からない、非効率な経営の“言い訳”にも？
 - 自社だけが取り組むとライバルに負けてしまうのでは？
 - 「囚人のジレンマ」的状況が発生する危険性

⇒ 企業の自発的な行動が社会の目標達成に近づく (alignする) ような
ルール作りを政府は心がけるべき (×直接的な介入)

イズム(主義)としての資本主義

Wealth (死蔵)

Capital (再投資)



資本“主義”の定義 (by ハラリ『サピエンス全史』)
→ 利益は生産活動に(再)投資される“べき”

投資ではなく投機にWealthがまわる

Speculation (投機)

Capital (再投資)



生産活動を伴わない投機市場が大きくなる
→バブルの発生!?

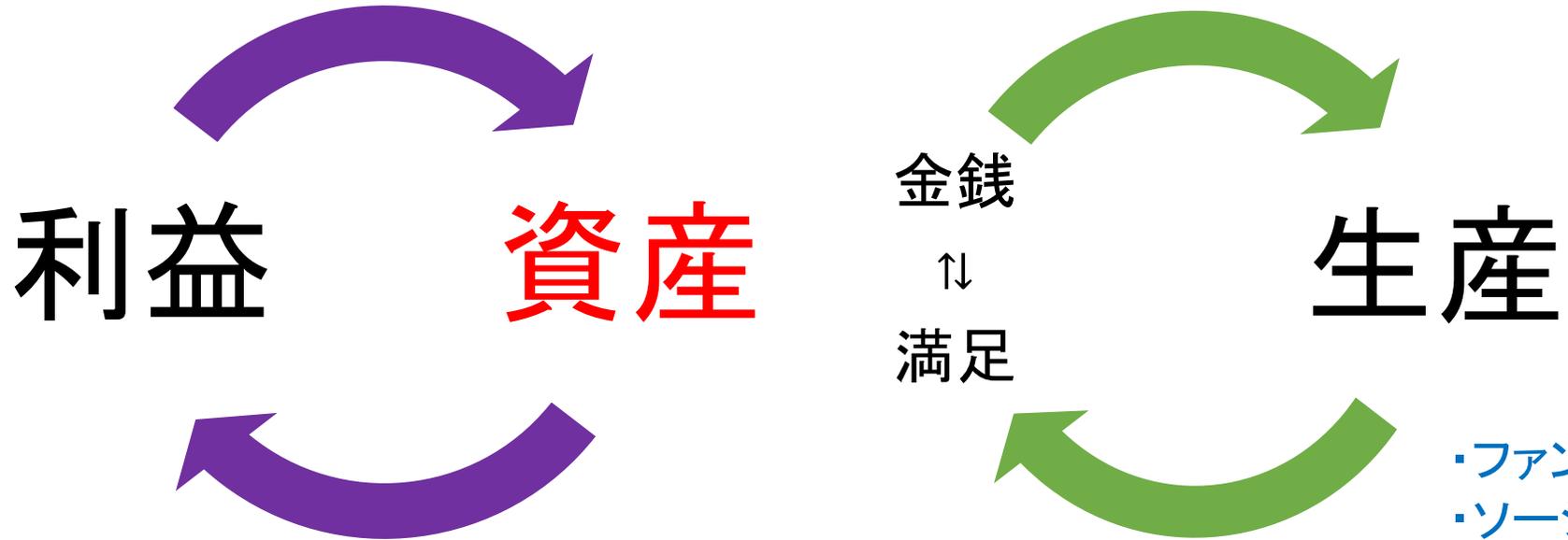
- ・超低金利
- ・自社株買い
- ・内部留保

↓
資本主義の危機!?

“消費”型投資が資本主義を救う！？

Speculation (投機)

“消費”型投資



金銭以外のリターンを期待する投資が増えると...
→ SpeculationやWealthがCapitalに！

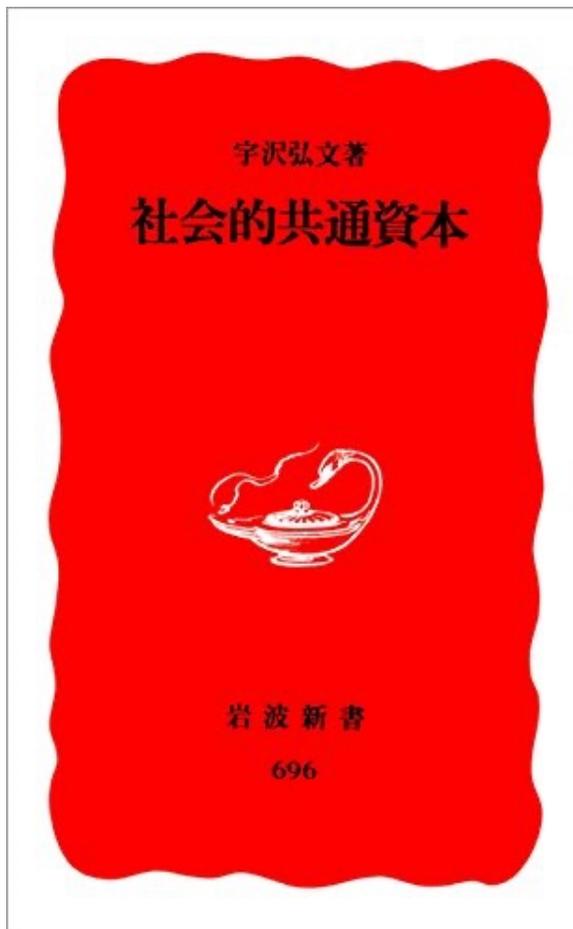
- ・ファンエコノミー
- ・ソーシャルインパクト
- ・クラウドファンディング

↓
新しい資本主義！？

システム(制度)としての資本主義

- 私的所有 ← 誰のもの？
 - ⇔ 公的機関、再分配、免許・規制
 - ⇒ ベーシックインカム、電波入札、共有経済
- 利潤動機 ← 何のため？
 - ⇔ シェア最大化、CSR、三方よし
 - ⇒ クラウドファンディング、SDGs、パーパス経営
- 市場経済 ← どこで？
 - ⇔ 組織、家族、共同体、社会的共通資本
 - ⇒ トークン、メタバース、DAO(自立分散型組織)

宇沢弘文氏の「社会的共通資本」



“すべての人びとが、ゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力のある社会の安定的な維持を可能にする自然環境と社会的装置”

- 自然環境
 - 大気、水、森林、河川など
- 社会的インフラストラクチャー
 - 道路、交通機関、上下水道など
- 制度資本
 - 教育、医療、金融など

コモンズの悲劇の代表的な“解決策”

		競合する	競合しない	競合性
排除性	排除できる	私的財	クラブ財	
	排除できない	① コモンズ	② (純粹)公共財	⇐ 非排除的 & 非競合的

- 共有資源の乱獲
 - 管理のただ乗り
- ⇒ 「共有地の悲劇」

教科書的な解決策

- ① 私的所有権＋民営化（私的財）
- ② 国・自治体による管理（クラブ財）

社会的共通資本 ≠ 従来のコモンズ

	完全に競合する	部分的に競合する (混雑・過剰利用)	競合しない
完全に排除できる	私的財 アダム・スミス		クラブ財 ポール・ローマー
部分的に排除可 (長期的関係)		社会的共通資本 オストロム・宇沢弘文	
排除できない	“コモンズ” ハーディン		公共財 サミュエルソン

解決策③ 「コモンズの統治」 ⇒ 社会的共通資本の理論的土台

営利企業・社会的共通資本・DAOの比較

営利企業	社会的共通資本	DAO
私的所有 (組織の境界が 厳格)	共同所有 (メンバー資格が 厳格)	誰も所有しない (組織の境界が 緩い)
利潤、成長、 利己	社会、持続、 協力 (互惠)	トークン、 協力 (利己)
市場経済	地域共同体	ゆるい共同体